



公益社団法人
愛媛県理学療法士会ニュース



2023.8 第51号 (通巻104号)

2023年8月4日発行

発行責任者：木口 大輔

発行所：(公社)愛媛県理学療法士会
社会局 広報部

住所：〒791-1112

愛媛県松山市南高井町 333

南高井病院 リハビリテーション科内

TEL (089) 976-7777 (代)

編集者：安部 敏博、藤巻 健悟

ホームページ：<http://www.epta.jp/>

総会員数 1,939 名 (7/3 現在)

◆◆巻頭言◆◆

公益社団法人 愛媛県理学療法士会
副会長・事務局長 土居誠治

現状維持に甘んじることのない士会運営のために

厳しい暑さの頃ですが、会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

前回の巻頭言を執筆させていただいてから2年が経ちました。この2年間を振り返りますと、COVID-19が感染法上5類へ移行し、新たな生活がスタートしました。依然として医療・介護の現場ではコロナ感染と向き合いながら日々の業務に従事し、他職種と比較して5類への移行を実感しにくい日々をお過ごしのことかと思えます。また、ウクライナ情勢による物価高騰の影響を受け、食料品や衣服など生活必需品が軒並み高騰したものの、我々理学療法士の給与には変化はなく、日々の生活が大変だという声を多数聞いております。

このような時代背景の中で、愛媛県理学療法士会としてできることを役員一同で考えました。検討した取り組みの一つに、愛媛県士会主催の研修会を会員の皆様には原則無料で受講いただき、経済的な負担を少しでも軽減して、スキルアップの機会が損なわれないようにしました。また、将来的には会費運営のみに頼らない、財政的に安定した士会運営のために、地域事業の拡大や、企業を対象にした高年齢労働者に対する腰痛予防・転倒予防など新たな領域の拡大に向けて取り組みを始めております。理学療法士の職域と報酬を守るために、約半年間の空白期間はありましたが、理学療法士で参議院議員の田中まさし先生が国政の場に登壇され、我々理学療法士の職域と報酬を守るための活動をされております。

「現状維持では、後退するばかりである」とウォルト・ディズニーが語っています。この2年間を振り返っても、COVID-19や世界情勢は常に進んでおり、現状維持に甘んじた瞬間から後退が始まるのではないかと。日々、自問自答しつつ新たな士会の姿を想像しながら士会運営にあたっていきたくと思います。

会員の皆様におかれましても、大変な時代ではありますが、新たな士会の取り組みにご理解いただき、未来を見据えて一緒に行動できると幸いです。士会運営に関して至らない点も多々あるかと思えます。皆様からご意見をいただきながら士会運営を展開していきたいと考えております。お気づきの点がありましたら、お気軽に事務局へご連絡ください。

暑い日が続きますが、お身体に気をつけて日々の業務にあたるとともに、士会活動へご協力をいただきますよう重ねてお願い申し上げます。

今号の内容

・各部より 総務部	2
学術部	4
教育部	13
・50周年記念事業準備委員会からのご案内	14
・2023年度通常総会議事録	15
・2023年度役員・部員名簿	24
・求人広告	29

【総務部からのお知らせ】

2022 年度 愛媛県理学療法士会賞 表彰式



定松 修一 先生
(愛媛県理学療法士会 第10代会長)



藤原 雅弘 先生
(愛媛県理学療法士会 第8代会長)
愛媛十全医療学院



菊池 健蔵 先生
(愛媛県理学療法士会 元理事・監事)
松山市民病院



山内 正雄 先生
(愛媛県理学療法士会 元副会長)
びわこリハビリテーション専門職大学

が受賞されました。

入会確認のお願い

愛媛県理学療法士会(日本理学療法士協会)の入会者数が減少しております。職場の同僚、ご友人、同級生等で入会の確認をしていただきますようお願い申し上げます。右記QRコードから入会手続きが行えます。



愛媛県理学療法士会 年度別入会申請数(2023年7月15日付)

年度	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
入会申請数	122	115	123	99	79	80	58

異動・休会等の申請のお願い

各申請に関しては、各自で「マイページ」から申請いただくこととなります。

- ・ ログインID、パスワードをお忘れの方は、「マイページ ログイン画面(会員)」の「ログインできない方はこちら」から指示に従って再発行申請をしてください。
- ・ 1度「マイページ」へログインしていただくと、パスワードを変更できます。

【変更方法】 「マイページ」→メニューの「会員管理」→それぞれ「異動申請」「休会申請」などを選択→各指示に従って入力

愛媛県理学療法士会グループライン・メールアドレス登録について

愛媛県理学療法士会では、メールやLINEによる勉強会やお知らせ等の情報発信を行っています。つきましては、下記の要領にて、登録をお願いしたいと思います。また、皆様の職場でも登録がお済みでない会員がいらっしゃいましたら登録をお願いしていただければと思います。

愛媛県理学療法士会・

連盟LINE登録

<https://lin.ee/3VGa7Lu>



右記QRコードか右記のメールアドレスへ、空メールをお送りください。しばらくするとメールが返信されます。登録フォームに必要事項をご記入の上、再度、ご返信ください。*携帯から登録する場合は、氏名の記入をよろしくお願いいたします。

スターセブン

メール登録

ptehime@star7.jp



求人・広告・賛助会員募集に関して

愛媛県理学療法士会ニュース epta、士会だよりへ掲載する求人・広告を募集いたします。また、賛助会員も募集いたします。ご希望の方は jimukyoku@epta.jp までご連絡ください。

総務部

〒791-0385 愛媛県東温市南方 561

愛媛十全医療学院 理学療法学科内 楠 大吾

TEL : 089-933-7282 FAX : 089-903-1263

E-mail : soumu@epta.jp

【学術部からのお知らせ】

第 27 回愛媛県理学療法士会学術集会表彰式

学会長賞

「歩数計を用いた活動量管理」を主とした少数回外来心臓リハビリテーションの効果

鈴木 伸先生（松山市民病院）

奨励賞

下垂足患者に体幹機能への介入がバランス向上に繋がった一症例

村上 哲志先生（松山ペテル病院）

新人賞

右視床梗塞による左片麻痺患者の農作業復帰を目指して

竹本 幸太先生（宇和島徳洲会病院）



左から 竹本幸太氏、村上哲志氏、鈴木伸氏、加地和正大会長

第 28 回愛媛県理学療法士会学術集会（ハイブリッド開催）のご案内

第 28 回愛媛県理学療法士会学術集会

大会長 吉野 一弘

準備委員長 高木 亮典

謹啓

盛夏の候、会員の皆様にはますます御健勝のこととお慶び申し上げます。平素より士会活動にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。

さて、この度第 28 回愛媛県理学療法士会学術集会を 2024 年 3 月 10 日（日）に開催する運びとなりましたのでご案内申し上げます。

新型コロナウイルス感染症対策も次のステージに移行していく中で、新しい取り組みや理学療法士の活躍の場を拡げていくことが求められます。取り巻く環境の変化を敏感に捉え、理学療法士の強みや過去の経験を活かして挑戦し続けることが明るい未来を築くことに繋がると確信しております。

今回の学術集会は「新しいステージへの挑戦 ～理学療法の探究～」をテーマに掲げ、我々、理学療法士の新しい可能性の発見に繋がる機会となることを祈念しております。

会員の皆さまの多数のご参加と演題応募をお待ちしております。どうぞ宜しくお願いいたします。

謹白

第 28 回愛媛県理学療法士会学術集会（ハイブリッド開催）概要

会 期：2024 年 3 月 10 日（日）

テ ー マ：新しいステージへの挑戦 ～ 理学療法の探究 ～

会場：IYO 夢みらい館 ※会場と WEB でのハイブリッド開催を予定しています。

特別講演：「NIDCAP における理学療法士の役割と可能性」

藤本 智久 先生（姫路赤十字病院 リハビリテーション技術第一課長）

一般演題：口述 30 題程度（演題登録期間：2023 年 11 月 1 日（水）～11 月 30 日（木）18：00 まで）

抄録広告の募集：申込締切；2023 年 12 月 11 日（月）

事 務 局：奥本 充（伊予病院）

〒799-3101 愛媛県伊予市八倉 906 番地 5

E-mail：mitsuru.okumoto@gmail.com

2023年度 学術部主催研修会のご案内

◆ 一般研修会

■ 第3回一般研修会 アカデミックナイトセミナー（医師による研修会） ※当日受付あり

開催日時：2023年9月6日（水） 19：00～20：30（18：30～受付開始）

登録理学療法士 更新ポイント / 認定/専門理学療法士 更新点数に使用できます。

カリキュラムコード：74（中枢神経疾患）

ポイント数：1.5

テーマ：脳卒中の診断と治療—リハビリテーションに必要な基礎知識—

講師：千崎健佑先生（もりもと在宅クリニック）

会場：WEB研修会 ※PC、タブレット、スマートフォンにてご参加ください。

会費：無料（県内会員の場合）

2,000円（県外PT協会会員、他職種の場合）

8,000円（非会員の場合）

定員：200名

事前申込方法：日本理学療法士協会マイページよりお申込みください。

→事前申込期間終了後、参加者へ研修会案内メールをお送りいたします。

当日受付方法：本研修会は当日受付が可能です。ただし、楽天カード決済限定となります。

当日受付をされる方は、Ehime.pt.gakujutsu@gmail.comまでメールにてご連絡ください。

→問い合わせ担当者のアドレスと異なりますのでご注意ください。

※協会マイページからの当日参加登録はできません。

メール確認後、参加方法等をご連絡いたします。

〈問い合わせ先〉

担当：愛媛県立中央病院 青木卓也

メールアドレス：bluetree350520@gmail.com

■ 第4回一般研修会（テクニカルナイトセミナー③） ※当日受付あり

開催日時：前半；2023年9月14日（木） 18時30分～20時（受付開始：18時）

後半；2023年9月21日（木） 18時30分～20時（受付開始：18時）

登録理学療法士 更新ポイント / 認定/専門理学療法士 更新点数に使用できます。

カリキュラムコード：65（平衡機能障害）

ポイント数：3（ポイント取得には前後半両方参加が条件）

テーマ：前半； バランスの基礎知識と理学療法評価

後半； The Balance Evaluation Systems Test (BESTest) の紹介

内容：前半はバランスを考える上で必要な基礎知識や一般的なバランスの評価・治療について説明します。後半は近年バランスの評価として使用されるようになっている BESTest について実技動画を含めて紹介し、BESTest についての理解を深めたいと思います。新人の方にも分かりやすい内容としているため、ぜひ参加していただけたらと思います。講師：石川 拓実先生（愛媛十全医療学院）
山口 将史先生（愛媛十全医療学院附属病院）

会場：WEB 研修会 ※PC、タブレット、スマートフォンにてご参加ください。

会費：無料（県内会員の場合）

2,000 円（県外 PT 協会会員，他職種の場合）

8,000 円（非会員の場合）

※どちらか一方での参加、前半・後半の両方参加どちらの場合でも上記の会費となります。

定員：200 名

事前申込方法：日本理学療法士協会マイページよりお申込みください。

→事前申込期間終了後、参加者へ研修会案内メールをお送りいたします。

当日受付方法：本研修会は当日受付が可能です。ただし、楽天カード決済限定となります。

当日受付をされる方は、Ehime.pt.gakujutsu@gmail.com までメールにてご連絡ください。

→問い合わせ担当者のアドレスと異なりますのでご注意ください。

※協会マイページからの当日参加登録はできません。

メール確認後、参加方法等をご連絡いたします。

〈問い合わせ先〉

担当：石川 拓実（愛媛十全医療学院）

メールアドレス：tkm.27om38ej@gmail.com

■ 第 5 回一般研修会（災害リハビリテーション研修会） ※当日受付あり

開催日時：2023 年 10 月 11 日（水） 19 時 00 分～20 時 30 分（受付開始：18 時 30 分）

登録理学療法士 更新ポイント / 認定/専門理学療法士 更新点数に使用できます。

カリキュラムコード：31（災害時の理学療法）

ポイント数：1.5

テーマ：西日本豪雨災害における災害リハビリテーション支援活動について

内容：平成 30 年豪雨災害の倉敷市真備地域における岡山 JRAT の活動と受援についてご講演いただきます。

講師：荒尾 賢先生（公益財団法人操風会 岡山里ハビリテーション病院）

会場：WEB 研修会 ※PC、タブレット、スマートフォンにてご参加ください。

会費：無料（県内会員の場合）

2,000 円（県外 PT 協会会員，他職種の場合）

8,000 円（非会員の場合）

定員：200 名

事前申込方法：日本理学療法士協会マイページよりお申込みください。

→事前申込期間終了後、参加者へ研修会案内メールをお送りいたします。

当日受付方法：本研修会は当日受付が可能です。ただし、楽天カード決済限定となります。

当日受付をされる方は、Ehime.pt.gakujutsu@gmail.com までメールにてご連絡ください。

→問い合わせ担当者のアドレスと異なりますのでご注意ください。

※協会マイページからの当日参加登録はできません。

メール確認後、参加方法等をご連絡いたします。

〈問い合わせ先〉

担当：金並将志（松山赤十字病院）

メールアドレス：masasi.1113.soft.tennis@gmail.com

■ 第6回一般研修会（テクニカルナイトセミナー④） ※当日受付あり

開催日時：前半：2023年11月16日（木） 18時30分～20時（受付開始：18時）

後半：2023年11月23日（木） 18時30分～20時（受付開始：18時）

登録理学療法士 更新ポイント / 認定/専門理学療法士 更新点数に使用できます。

カリキュラムコード：89（徒手理学療法）

ポイント数：3（ポイント取得には前後半両方参加が条件）

テーマ：膝関節のクリニカルリーズニング

内容：膝関節に対するエビデンスに基づいた問診や評価の流れ、仮説の立て方などを中心に講義を行う。

講師：近藤 正太先生（三津整形外科）

住井 良利先生（三津整形外科）

亀尾 恭平先生（三津整形外科）

会場：WEB 研修会 ※PC、タブレット、スマートフォンにてご参加ください。

会費：無料（県内会員の場合）

2,000円（県外PT協会会員、他職種の場合）

8,000円（非会員の場合）

※どちらか一方での参加、前半・後半の両方参加どちらの場合でも上記の会費となります。

定員：200名

事前申込方法：日本理学療法士協会マイページよりお申込みください。

→事前申込期間終了後、参加者へ研修会案内メールをお送りいたします。

当日受付方法：本研修会は当日受付が可能です。ただし、楽天カード決済限定となります。

当日受付をされる方は、Ehime.pt.gakujutsu@gmail.com までメールにてご連絡ください。

→問い合わせ担当者のアドレスと異なりますのでご注意ください。

※協会マイページからの当日参加登録はできません。

メール確認後、参加方法等をご連絡いたします。

〈問い合わせ先〉

担当：沖 勇弥（三津整形外科）

メールアドレス：u-80818@outlook.jp

■ 第7回一般研修会 協会指定管理者研修会（初級・職域別） WEB開催

開催日時：2023年12月10日（日）

内容：本研修会では、人材育成や職場管理についての研修と、日頃の悩み等を意見交換できる時間も設けております。一人でも多くの管理業務に携わっている方々にご参集いただき、実りある場の提供になることを願っております。管理業務といっても、多種多様な状況があるかと思えます。一人職場でも多職種との連携が重要ですし、少人数の職場でも後輩指導等の何らかの管理的業務に携わられているかと思えます。そのような皆様にも是非ともご参加いただけますようお願いいたします。

◇協会指定管理者研修（初級）

①木口 大輔会長：士会活動について

②木口 大輔先生（愛媛県立中央病院）：協会指定管理者（初級）研修

◇協会指定管理者研修（職域別）

- ・急性期：金並 将志先生（松山赤十字病院）
- ・回復期：都能 禎二先生（鈴木整形外科）
- ・生活期：阿部 恒美先生（介護老人保健施設あすなろ）
- ・地域包括ケア：森川 真也先生（放射線第一病院）

会場：WEB研修会

※詳細決定次第、愛媛県士会HPに掲載していきます。

〈問い合わせ先〉

担当：松山赤十字病院 大野 拓哉

メールアドレス：takuyaono510@gmail.com

■ 第8回一般研修会（テクニカルナイトセミナー⑤）

開催日時：前半；2024年1月18日（木） 19時00分～20時30分（受付開始：18時30分）

後半；2024年1月25日（木） 19時00分～20時30分（受付開始：18時30分）

登録理学療法士 更新ポイント / 認定/専門理学療法士 更新点数に使用できます。

カリキュラムコード：9（介護保険サービスと理学療法）

ポイント数：3（ポイント取得には前後半両方参加が条件）

テーマ：前半；通所系サービスにおける理学療法の評価と実際

後半；訪問リハにおける理学療法の評価と実際

内容：通所系サービスや訪問リハにおける理学療法の評価と実際、リスク管理について概説します。事例を通して、生活期リハの課題や取り組みについて少人数でグループワークを行い、学びを深めます。

講師：足立斉志先生（ケアプラスデイサービスセンター新居浜）

森川真也先生（放射線第一病院）

手嶋麻美先生（デイフィット ASRE 和）

会場：WEB研修会 ※PC、タブレット、スマートフォンにてご参加ください。

会費：無料（県内会員の場合）

2,000円（県外PT協会会員、他職種の場合）

8,000円（非会員の場合）

※どちらか一方での参加、前半・後半の両方参加どちらの場合でも上記の会費となります。

定員：60名

事前申込方法：日本理学療法士協会マイページよりお申込みください。

→事前申込期間終了後、参加者へ研修会案内メールをお送りいたします。

メール確認後、参加方法等をご連絡いたします。

〈問い合わせ先〉

担当：足立斉志（ケアプラスデイサービスセンター新居浜）

メールアドレス：s072221120521@gmail.com

■ 第9回一般研修会（テクニカルナイトセミナー⑥） ※当日受付あり

開催日時：前半；2024年3月14日（木） 18時30分～20時（受付開始：18時）

後半；2024年3月21日（木） 18時30分～20時（受付開始：18時）

登録理学療法士 更新ポイント / 認定/専門理学療法士 更新点数に使用できます。

カリキュラムコード：106（心臓リハビリテーション）

ポイント数：3（ポイント取得には前後半両方参加が条件）

テーマ：前半；心リハにおけるサルコペニアの病態、評価、治療について

後半；臨床場面に即した心臓リハビリテーションの実際について

内容：本研修会は、サルコペニアを合併した心疾患に対する「包括的心臓リハビリテーション」についての研修を実施します。前半ではサルコペニアの病態、評価、治療についてご紹介いたします。そして後半では、臨床場面に即した心臓リハビリテーションの実際についてご紹介いたします。全世界において高齢化社会が急速に進行し、高齢化に伴い多くの合併症を有す心疾患患者も増加しております。その中でもサルコペニアは心疾患患者の予後不良因子の1つであり、臨床現場で遭遇するケースも増加しております。本研修会では海外の文献やエビデンスなど、最新の知見も併せてご紹介させていただく予定であります。臨床で心リハを実際に行っている先生方はもちろん、心疾患を併せ持つ脳血管疾患や、高齢者を担当する先生方も、急性期から在宅まで、臨床に即反映できる内容です。是非ご参加下さい。

講師：中屋 雄太先生（市立宇和島病院）

鈴木 伸先生（松山市民病院）

会場：WEB 研修会 ※PC、タブレット、スマートフォンにてご参加ください。

会費：無料（県内会員の場合）

2,000円（県外PT協会会員、他職種の場合）

8,000円（非会員の場合）

※どちらか一方での参加、前半・後半の両方参加どちらの場合でも上記の会費となります。

定員：200名

事前申込方法：日本理学療法士協会マイページよりお申込みください。

→事前申込期間終了後、参加者へ研修会案内メールをお送りいたします。

当日受付方法：本研修会は当日受付が可能です。ただし、楽天カード決済限定となります。

当日受付をされる方は、Ehime.pt.gakujutsu@gmail.com までメールにてご連絡ください。

一問い合わせ担当者のアドレスと異なりますのでご注意ください。

※協会マイページからの当日参加登録はできません。

メール確認後、参加方法等をご連絡いたします。

〈問い合わせ先〉

担当：中田 亮輔（松山市民病院）

メールアドレス：shortstot@yahoo.co.jp

◆ 土日研修会

開催日時：1日目：2023年9月23日（土） 13時00分～17時20分（受付開始：12時30分）

2日目：2023年9月24日（日） 9時30分～15時30分（受付開始：9時）

※2日間とも参加で履修となります。

登録理学療法士 更新ポイント / 認定/専門理学療法士 更新点数に使用できます。

カリキュラムコード：62（運動麻痺）

ポイント数：9（ポイント取得には両日参加が条件）

テーマ：「中枢神経疾患に対する座位・立位・歩行の実践的アプローチ

－脳卒中片麻痺症状を中心に－」

内容：①（講義）中枢神経システム理論をもとに、中枢神経麻痺（大脳・大脳基底核・小脳症状の評価）を理解します。②（講義）座位、立位、歩行それぞれの姿勢における特徴を、中枢神経システム理論をもとに、運動力学的視点から理解します。③（実技）中枢神経障害に対する座位、立位、歩行といった一連のアプローチを、講師によるデモンストレーション及び撮影動画をもとに質疑応答で、フィードバックを行います。*回復期は勿論、急性期で早期リハビリテーション（座位・立位・歩行）に携わっているセラピストの参加をお待ちしております。

講師：谷内 幸喜先生（城西国際大学）

会場：対面での開催 伊予病院（愛媛県伊予市八倉 906 - 5）

会費：無料（県内会員の場合）

5,000円（県外PT協会会員、他職種の場合）

12,000円（非会員の場合）

定員：25名（先着順）

事前申込方法：日本理学療法士協会マイページよりお申込みください。

〈問い合わせ先〉

担当：伊予病院 河崎 由美子

メールアドレス：y.kawasaki@iyohp.jp

◆ 理学療法士講習会（応用編）

テーマ：「臨床家のための具体的研究手法 ～臨床研究のブラッシュアップを目指して～」

開催日時：2023年11月4日（土） 9時00分～17時30分（受付開始：8時30分）

登録理学療法士 更新ポイント / 認定/専門理学療法士 更新点数に使用できます。

カリキュラムコード：48（研究法）

ポイント数：7.5

内容：本研修会では、臨床研究を始めるために必要な研究の知識や臨床実践・管理業務に必要な統計解析についての講義を行います。また、経験や知識に応じて、Aグループ：研究の進み具合に応じたブラッシュアップ、Bグループ：統計に関する疑問の解決、Cグループ：研究の取り組み方と臨床データの活用方法についての3グループに分けて演習を行います。これから研究を行ってみようと考えている方から自分の研究をブラッシュアップしたい方まで 明日から臨床応用できるような研修会を行っていきます。本講習会は、通常の講義に加え、複数の講師が助手となって演習をサポートする「ハンズオン」タイプの講習会です。

講師：森川 真也先生（放射線第一病院）、尾藤 貴宣先生（岐阜大学医学部付属病院）、
伊藤 秀幸先生（宝塚医療大学）、井上 優先生（吉備国際大学）、山科 俊輔先生（平病院）
玉利 光太郎先生（帝京平成大学）、田中 繁治先生（神奈川県立保健福祉大学）、
田中 亮先生（広島大学）

会場：WEB 研修会 ※PC、タブレット、スマートフォンにてご参加ください。

定員：40名

会費：6,000円（会員の場合）

13,000円（非会員の場合）

事前申込方法：日本理学療法士協会マイページより申込みをお願いいたします。

〈問い合わせ先〉

担当：放射線第一病院 森川 真也

メールアドレス：housyasendaiichi@yahoo.co.jp

※研修会内容等に変更がある場合があります。

※研修会の最新情報・詳細は、県士会 HP にて随時掲載しております。ご確認よろしく申し上げます。

学術部に関するお問合せ先

〒790-8524 松山市文京町1番地

松山赤十字病院 リハビリテーション科

金並 将志

Tel 089-924-1111 E-mail gakujutsu@epta.jp

【教育部からのお知らせ】

2022年4月より新生涯学習制度が開始されました。愛媛県理学療法士会教育部の活動として今年度は、前期研修A 初期研修（6コマ）、士会主催症例検討会、スキルアップ研修会を行う予定となっています。

＜前期研修A 初期研修について＞

2023年6月	30日(金)	A-1：職業人と倫理	(終了)
7月	7日(金)	A-2：協会組織	(終了)
7月	14日(金)	A-3：人間関係および接遇	
8月	4日(金)	A-4：理学療法における関連法規	
8月	18日(金)	A-5：理学療法における情報管理	
8月	25日(金)	A-6：生涯学習について	



申し込みはこちらから

○講義時間 19：00～20：30(1.5時間：1コマ)
18：30～入室できます。

※愛媛県理学療法士会 HP より申し込みいただけます。参加は事前申し込みされた方のみで締め切りは各研修の1週間前(12：00)となっております。詳細は愛媛県理学療法士会 HP に適宜掲載しますので度々の確認をよろしくをお願いします。

＜士会主催症例検討会について＞

症例検討会は後期研修E 領域別研修(事例)として必須項目となっています。履修付与数について、発表者は1症例×『1回の発表』で1コマ、聴講者は1症例×『3回の聴講』で1コマとなっています。

＜スキルアップ研修会について＞

愛媛県理学療法士会教育部では、新人・若手の先生方の学習の一助になればと思い研修会の開催を予定しております。この研修会をスキルアップ研修会という名称とし、新人・若手の先生方が普段の臨床で感じる疑問を解決できるような会にしたいと思っております。講義や質疑応答など活発なディスカッションもできればと思います。2023年度には3回程度の開催を予定しております。

士会主催症例検討会とスキルアップ研修会に関しては詳細が決まり次第、愛媛県理学療法士会 HP に適宜掲載しますので度々の確認をよろしくをお願いします。

＜士会承認研修会・士会承認症例検討会について＞

〈当該研修会の申請についての申請～承認・開催までの流れ〉

- ①日本理学療法士協会マイページで当該研修会の申請を行っていただくとともに愛媛県理学療法士協会教育部担当者に申請用紙および資料の提出をお願いします。
- ②担当部門にて申請書類の確認等を実施します。
(※申請から1週間程度のお時間をいただいております。)
- ③確認等が完了後、当該研修会の承認・否認の決定をさせていただきます。
- ④決定が申請者に通知・マイページへ反映されます。
- ⑤承認の場合は検討会(研修会)が開催可能となります。



※承認・否認決定作業は各月の1日と15日(休日や承認作業数により多少の差異あり)に行います。

※1日の承認・否認の決定作業はおおむね前月25日までの申請分となります。

※15日の承認・否認の決定作業はおおむね当月8日までの申請分となります。

承認・否認の決定に期日を設けておりますので、開催日にあわせて余裕をもって申請をお願いできればと思います。

学術局 教育部

〒799-1104 西条市小松町妙口甲 1521 番地

西条市民病院

リハビリテーション部 百田 雅治

TEL(教育部専用)：080-9832-7119

E-mail：kyouiku2@epta.jp

50周年記念事業準備委員会からのご案内

2021年7月11日～18日にかけて愛媛県理学療法士会創立50周年記念WEB市民公開講座が西条支部担当のもと開催されました。WEB市民公開講座において自宅のできるボール体操が紹介され、その後、西条市地域包括支援センター様の協力を得ながら、創立50周年記念事業の一環として西条ボール体操DVD・ポスターが作成されました。そして今回作成された西条ボール体操DVD・ポスターの一部を西条市様に寄贈いたしました。寄贈に当たり西条市役所において贈呈式が開催され、西条市長 玉井 敏久様より本会に対して感謝状が授与されました。今回寄贈された西条ボール体操のDVDやポスターは西条市様の公民館活動及び地域の介護予防教室等で活用され、西条市民の皆様の介護予防及び健康寿命の延伸に役立てられます。なお、贈呈式後に西条市様より認知症講演会への講師派遣依頼、介護保険や地域包括支援センター運営協議会への委員派遣依頼等、理学療法士を始めとしたリハビリテーション専門職の派遣依頼を次々にいただいている状況です。これからも愛媛県理学療法士会は、愛媛県リハビリテーション専門職協会と連携しながら、地域リハビリテーション活動支援事業に参画して参ります。今後ともご支援、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。

西条ボール体操DVD・ポスター贈呈式に参加して

有限会社キャンパス 訪問看護ステーションおれんじ

理学療法士 黒川 洋輔

令和5年5月15日西条市役所本庁舎で西条ボール体操のDVD、ポスターの贈呈式が執り行われた。

木口会長の挨拶、西条市長、西条市副市長からの理学療法士に関する質問等の後、西条ボール体操のデモンストレーションをさせていただいた。デモンストレーション後には、西条市長、西条市副市長、記者の方から質問もいただき、西条ボール体操を始めた経緯や、体操の意図等を説明させていただき、大変貴重な経験をととなった。

西条ボール体操は、5年前に、百歳体操に加えて、身体を大きく使って、皆で楽しくできる体操を作ろうといったことから初版のDVDを作成した。西条市出前講座や様々な講座等でデモや案内を通して、徐々に自主グループで公民館や、集会所に集まって体操をされている地域の方々に広がってきた。使用していく中で、スピードや内容について、地域の方や西条市包括支援課の方から意見をいただき、包括支援課と共同で改良を加えながら、現在の内容となった。自作DVDから始まり、様々な方と協力することで、より良いものが出来上がり、様々な方に見ていただけるようになった。ご協力いただいた方々へ感謝したい。

今後は、ボール体操を使用していく中で、様々な課題や改良点も出てくると思われるので、使用していただいている地域の方などからの意見を参考に、改良しながら、より効果的で、より楽しめる西条ボール体操を作っていきたい。また、地域の方々が元気に、笑顔で、楽しく生活ができるよう、西条ボール体操だけでなく、理学療法士として、地域の介護予防に関わっていきたい。



西条ボール体操DVD・ポスター贈呈式

左から西条ボール体操DVD・ポスターモデル役の黒川先生、西条支部副支部長の青野先生、木口会長、西条市長 玉井 敏久様、西条市副市長 越智 三義様

西条ボール体操DVD・ポスター贈呈式を持ちまして、50周年記念事業準備委員会の活動が終了となりました。皆様のご協力のおかげで50周年事業を成功裏に開催することが出来ました。ありがとうございました。

2023年度通常総会議事録

- 1 開催日時 2023年6月18日 10時00分から11時30分
- 2 開催場所 松山市三番町6丁目4番地20
松山市男女共同参画推進センター COMS 大会議室
- 3 議決権を有する会員の現在数 1,665名
- 4 出席会員数 935名（出席 79名、委任状出席 856名）
- 5 開会の辞
吉野副会長が開会の辞を述べた。
- 6 会長挨拶
木口会長より挨拶が行われた。
- 7 定足数報告
土居事務局長より、定足数について「本日の通常総会は議決権を有する会員数1,665名、出席者79名、委任状出席856名、合計935名となり、定数を満たしたため有効に成立した」旨が告げられた。
- 8 議長の選出
議長を選出すべく出席会員で互選したところ、満場一致をもって河原医療大学校 木村玄宏 氏を選出した。木村玄宏 氏がこれを承諾し議長席につき、議案の審議に入った。
- 9 議事録署名人の指名
議事録署名人の指名については、出席会員全員で議長一任とし、議長は前野整形外科 宮本佳明 氏と南松山病院 佐伯春香 氏を議事録署名人に指名した。
- 10 議事
○第1号議案 2022年度事業報告（案）に承認を求める件
木口会長より第50回リハビリテーション特別研修会について、また、学術部、教育部、医療・介護報酬部、地域包括ケア推進部、公益事業部、スポーツ支援部、広報部、事務局の2022年度事業（士会ニュース第50号 P.19から27）について総括して報告がなされた。
1) 学術局
学術部は一般研修会・特別研修会・土日研修会・学術集会・理学療法士講習会の計12回の研修会を開催した。
教育部は、日本理学療法士協会生涯学習履修ポイント登録申請および新人研修会8回と士会主催症例検討会5回を開催した。

2) 職能局

医療・介護報酬部は、士会ホームページに診療報酬・介護報酬についての情報提供を実施し、令和6年度トリプル改定に向けた研修会を開催した。

地域包括ケア推進部は、地域包括ケアに関する研修会をリモート形式で開催した。また、県市町村からの地域ケア会議・介護予防事業等の要請に対応するために、愛媛県理学療法士会・愛媛県作業療法士会・愛媛県言語聴覚士会の3士会により設立されている愛媛県リハビリテーション専門職協会と協同して、理学療法士の派遣調整・事業協力を行った。

3) 社会局

公益事業部は、運動器フォーラム・世界糖尿病デー街頭イベントはCOVID-19感染拡大防止のため中止となったが、愛媛県総合防災訓練（愛媛県災害リハビリテーション連絡協議会）、キッズジョブまつやま2022等は開催され協力した。

スポーツ支援部は、高校野球大会・愛媛マラソン・高校サッカー・障害スポーツに対するメディカルサポートを実施した。

広報部は、会員の関心を深めてもらうべく「士会ニュース・士会だより」の発行、士会ホームページ管理を行った。

4) 地域局

東中南予地区3ブロック、市町単位11支部のネットワーク強化・深化を進めるためにブロック会議・支部内ミーティングが頻回に開催され、新たに、東予ブロック士会主催研修会と、登録理学療法士制度に対応すべく士会主催症例検討会が5回開催された。

5) 第50回リハビリテーション特別研修会について

「地域包括ケアを支える地域リハビリテーション」をテーマとし開催した。

6) 事務局

総務部・財務部・会員支援部の業務、年間11回の理事会を開催した。とくに、2021年度養成校卒業生を対象とした新卒入会促進を行い、新たに労働災害防止と就労支援事業を展開するために、関連団体への訪問と調査を開始した。

総括

2022年度は、オミクロン株の出現により、以前に比べて重症度が大幅に低下したものの、感染者の規模が大きくなり速やかな対策が求められたのも事実である。まず、士会50周年記念事業準備委員会では、公益社団法人移行10周年記念式典を6月11日にホテルマイステイズ松山で開催し、多くの関係者のご協力により無事に終わることができ、記念誌を発刊した。

質疑応答：

会員より学術局長に対して質問があった。

Web 開催は大体 80~100 名弱の参加者があるようだが、対面ではとても少なく 10~20 名程度。今後も Web 開催あるいはハイブリッド開催を継続実施される予定なのか。

青木卓也学術部担当理事が回答した。メリットも大きいと考えられるので、今年度も継続する予定となっている。徐々にハイブリッド開催も実施できたらと考えている。

テクニカルナイトセミナー6（第 8 回一般研修会）は、両日で 143 名だと思いが、それぞれ何人だったのか。

青木卓也学術部担当理事が回答した。前半 138 名、後半 134 名で、両日参加できていない会員がいた。

協会指定管理者研修会の参加者が少ないが、広報含め問題はなかったのか。また、今後はどのように開催していく予定なのか。

青木卓也学術部担当理事が回答した。広報に関しては、HP での案内、士会だより等の広報物、愛媛県理学療法士会・連盟の合同 LINE を使用して実施したが、例年参加者は少ない。今後はハイブリッド開催をするなどしてできる限り対応したい。協会指定管理者の初級を取得した方が、再度参加することがほとんどない、またポイントも付与できないためメリットとして少ないと考える。

教育部の研修参加率に関して妥当な参加率なのか。また、新生涯学習制度の進捗状況（履修率、登録取得率等）はどうか。

尾坂学術局長が回答した。2022 年度における、愛媛県士会員の登録理学療法士取得率は、71.8%であり全国的にも高い水準である。また、教育部が主催した前期研修の「初期研修 A1~6」の全 6 回の研修会の参加者数は、40 人程度で昨年度の新人の約 50%が受講している。しかし、「初期研修 A」のテーマは対面必須ではなく、e ラーニングでも受講可能であるため履修者はさらに多くいると思われる。

会員より、地域局長に対して質問があった。

士会主催症例検討会は、教育部との共催（合同開催）ということなのか。どちらにも同じことが明記されている。共催であるなら、その旨明記すべきかと考える。

吉野地域局長が回答した。指摘の通り、教育部との共催（合同開催）であり、その旨記載すべきであった。今後は明記することとする。

会員より、事務局長に対して質問があった。

昨年度より事務局総部務の業務の一部を委託されていると思うが、1 年経過してみてもの費用対効果、メリット・デメリットを教えていただきたい。

土居事務局長が回答した。1 時間あたり 1,500 円という金額で業務委託を行っている。派遣会社に見積を取ると最低でも 2,000 円。また特殊な業務作業になるため、派遣会社への委託は難しい状況。メリットに関しては事務局の業務内容は軽減されており、委託することで業務が円滑に進む。デメリットに関しては特に感じていない。

理事会の議事録の作成に時間がかかっていると聞いた。理事全員で確認を行っているが経験が少ない者が作成している件について教えていただきたい。また、派遣社員やパートの事務職員を雇用していく方が後々議事録の作成が円滑になると考える。雇用する考えはあるのか。

土居事務局長が回答した。議事録を作成している担当者も慣れてきている。しかし、まだ十分ではな

いため、引き続き理事・監事で確認作業を行っていききたい。また、派遣社員やパートについても将来的には雇用できるようにしたいが、現在の予算規模では不十分である。

以上のような報告、質疑応答の後、第1号議案について、議長が会場に対して挙手にて承認を求めたところ本案は賛成多数で可決された。

○第2号議案 2022年度収支決算報告および監査報告（案）に承認を求める件

青木英次財務部担当理事より2022年度収支決算報告が行われた。公益法人として3つの財務基準を満たす必要があるが、正味財産増減計算書内訳表（士会ニュース第50号P.32）より経常費用合計が24,970,815円であり、そのうち公益目的事業会計は20,373,725円であることから、公益目的事業比率が81.59%となり、事業区分に占める公益事業費の比率50%以上でなければならないとする要件を満たした。次に公益目的事業会計の経常収益計が10,704,150円、経常費用計が20,373,725円で、収支差額は-9,669,575円となり、収入がその実施に要する適正な費用を超えてはならないという要件を満たした。

最後に、財産目録（士会ニュース第50号P.34）の資産の部・流動資産合計18,115,633円のうち9,452,359円（流動負債を除く）が遊休財産となり、2022年度の公益目的事業経常費用計が20,373,725円であることから、遊休財産額が1年間の公益目的事業費を超えないという要件を満たした。

続いて、大谷監事より、理事の職務の執行に関して不正な行為または法令・定款に違反するような重大な事実は認められなかったとする業務監査、及び帳簿並びに関係書類など適正に処理されていた旨の会計監査の報告がなされた。

質疑応答：

会員から財務担当理事に対して質問があった。

昨年度比として増減額の大きなものについて説明いただきたい。また会員数の増加とあるが、どのくらい増えたのか。昨年度より事務局総務部の業務の一部を県連盟に委託していると思うが、その委託はどの勘定項目に計上されているのかを教えてください。

青木英次財務担当理事が回答した。まず、事業費に関して大幅に増えているのは会場費。周年事業に加えて、昨年度は学術集会をハイブリッドで開催したが、試みとして業者に委託して開催した。印刷製本費が周年記念の記念誌の発行のため増加した。旅費交通費も大幅な増となっているが、一昨年度よりも公益事業の実施が増えたことが大きな要因。消耗品費については物品購入のため増となっている。続いて、管理費に関しては公認会計士の方への謝金、また総務部の業務委託費もこれに含まれる。旅費交通費は事務作業が増えたため、消耗品費の増はポロシャツの購入費用が計上されている。最後に会員数の増加に関してだが、2021年度は1,706人、2022年度は1,713人と7名増加した。

会員から租税公課に関して質問があった。租税公課「0円」は無いと思うが。

青木英次財務担当理事が回答した。ご指摘の通り、表記する項目とは別の項目に誤って記載していた。修正しておく。

会員から会長に対して質問があった。2年経過して漸く公益法人の3つの会計基準を満たすに至ったが、今後、新型コロナのような感染症に限らず、不測の事態に陥った際の危機管理対策や体制構築をどう考えるか。また、どのように実施していくのかをお聞きしたい。

木口会長が回答した。新型コロナウイルス感染症を経験して、上半期・下半期の中間監査を実施することで精度の高い予測を立てることの必要性を改めて感じている。今以上に、理事・監事が収支決算について日常的に意見交換する場を積極的に設けておくこと、そして、不測の事態が生じた場合には、中間監査結果をもとに、短期的に改善することは困難なため、中期にわたって改善していく必要があると考えている。

定款には自分たちの身分保障の活動を謳っているが、何か対外的・対内的に活動をされているのであれば提示していただきたい。

木口会長が回答した。訪問看護ステーション人員配置について、理学療法士の処遇改善、リハビリテーションに関する小委員会の設置など、日本理学療法士連盟の必要性というのは十分に理解している。愛媛県の理学療法士連盟との連携強化は今以上に行っていく必要があると思っている。政策委員会の設置に関しても、現在事務局が担当して行っている。

以上のような報告、質疑応答の後、第2号議案について、議長が会場に対して挙手にて承認を求めたところ、本案は賛成多数で可決された。

11 報告事項

(1) 2023年度事業計画の報告

会員支援部、学術部、教育部、医療・介護報酬部、地域包括ケア推進部、公益事業部、スポーツ支援部、広報部、リハビリテーション特別研修会、地域局の各担当理事より2023年度事業計画について報告がなされた。

【事務局】

－会員支援部－

金山会員支援部担当理事より、昨年度に引き続き、緊急連絡のFAX通信とメール配信を行うことが報告された。

【学術局】

－学術部－

青木卓也学術部担当理事より、2023年度の学術部の事業計画は、一般研修会として、テクニカルナイトセミナーとアカデミックナイトセミナー、災害リハビリテーション研修会、協会指定管理者研修会の計9回を開催する計画が報告された。うち、第1回一般研修会（テクニカルナイトセミナー1）は5月18日・25日の木曜日に開催済みである。

また、愛媛県理学療法士会学術誌「理学療法の探究」を作成することが報告された。

－教育部－

尾坂教育部担当理事より、研修会開催を学術部と合同で、特別研修会、一般研修会、協会指定管理者研修、土日研修会、第28回愛媛県理学療法士学術集会（3月）の開催計画と、新人研修会として、登録理学療法士取得に向けた「前期研修」のうち初期研修6コマ（全6回）、新人理学療法士向け研修会であるスキルアップ研修会（全3回）、士会主催症例検討会（全7回）の開催計画が報告された。

また、各士会主催研修会の日本理学療法士協会への申請作業及び研修会参加者の履修登録作業の実施、そして「士会承認研修会」「士会承認症例検討会」の審査・承認作業を行う予定であることが報告された。

【職能局】

－医療・介護報酬部－

池内医療・介護報酬部担当理事より、診療報酬・介護報酬の情報提供として愛媛県理学療法士会ホームページへの情報掲載、診療報酬・介護報酬改定に関する勉強会を開催予定であることの報告がなされた。

－地域包括ケア推進部－

松岡地域包括ケア推進部担当理事より、2023年度事業計画として、愛媛県訪問リハビリテーション研修会の企画・準備・運営を行う事、全国訪問リハ・地域リーダー会議への派遣、「訪問リハビリマップ」の作成について報告がなされた。

愛媛県社会福祉協議会（愛媛県介護実習普及センター）への協力として、えひめ福祉用具フェアへの共催を計画している。

市町及び関係機関・団体が主催する介護予防事業その他への協力として、保健福祉事業への協力・理学療法士派遣調整、地域包括ケアシステム研修会の企画・準備・運営、地域ケア会議推進リーダー研修・介護予防推進リーダー研修会の企画・準備・運営を計画していることが報告がなされた。

【社会局】

－公益事業部－

武智公益事業部担当理事より、進学・療養相談として、理学療法（士）啓発活動の推進をしていくこと、広域災害時の支援として、愛媛県災害リハビリテーション連絡協議会への協力、ならびに災害発生以降の被災者リハビリテーション支援・障がいの重度化予防・健康増進事業を実施すること、第15回運動器フォーラムの企画・準備・運営を行うこと、世界糖尿病デーの支援として、世界糖尿病デー街頭イベントへの協力、糖尿病予防啓発活動への協力をしていくことの報告がなされた。

－スポーツ支援部－

中尾スポーツ支援部担当理事より、高校野球・マラソン・高校サッカー・障がい者スポーツに対する支援事業内容・メディカルサポート研修・派遣に対する事業内容の報告がなされた。メディカルサポート研修会は学術部と共同し1ヶ月に1回開催する。

－広報部－

和田広報部担当理事より、「愛媛県理学療法士会ニュース・だより」の編集・発行、愛媛県理学療法士会ホームページの管理・更新、リハビリテーション特別研修会・理学療法週間啓発ポスター、案内チラシの作成を行う事が報告がなされた。

－第51回リハビリテーション特別研修会－

伊東リハビリテーション特別研修会担当理事より、第51回リハビリテーション特別研修会が7月16日に開催予定であると報告がなされた。

ー地域局ー

吉野地域局長より、ブロック活動、支部活動の推進について支部長会議、ブロック会議、支部ミーティングの開催・運営、ブロック毎の士会主催症例検討会、士会主催研修会を教育部・学術部と合同で開催する予定であることが報告なされた。

質疑応答：

会員から木口会長に対して質問があった。土日研修会等を除く一般研修会（講師医師を除く）では、全国レベルの講師による研修会を開催してはどうか。

木口会長が回答した。約5年前より愛媛県で開催される研修会は会員の育成のために愛媛県理学療法士の講師にて開催する方針で進めてきた。今後は全国に発信していく時代、特に協会マイページを利用して情報発信をしたいと思っている。質問の通り、全国レベルの講師、PT以外の講師も再検討すべき時期にきたと思うが、個人的には、今の学術局やスポーツ支援部の若い世代のメンバーに期待している。昨年度から、愛媛の医師によるアカデミックセミナー、一般研修会を奇数月の第3・4木曜日の定例化をしているが、さらに我々の想像・常識を超える研修会を、新たに企画してくると思っているのでバックアップしていく。

ー昨年から受講費を会員は無料としているが、公益法人の3つの会計基準を満たすことができても継続実施することが可能か。若い会員にとっては、とてもありがたいことなので可能であれば、継続実施していただきたいと質問があった。

木口会長が回答した。今回、コロナ感染症を経験して、人の行動パターン・思考内容も大きく変わった。そういう側面や会員のメリットのためにも、これからも継続して無料で開催できるよう財務担当者と十分に検討していく。

会員より、愛媛県主催の研修会への県外会員の参加は何名いるのか、と質問があった。

青木学術部担当理事が回答した。昨年度は県外会員の参加者数は少ない状態であった。今年度は10数人の県外会員の参加となっていたが、参加費を徴収することからも、県外からの参加人数が増えてくるとありがたい。

会員より、県外の会員に対してもホームページより他県の研修会にも参加できるが、県内で開催する方が会員の目に留まりやすいので県内でも著名な講師による研修会を開催していただけるとありがたい、と意見があった。

会員より、協会の理事会について代議員及び士会の役員10名を上限として傍聴が可能であるが、傍聴した役員は理事会で情報を共有しているのか、と意見があった。

木口会長が回答した。木口会長、土居理事が傍聴している。詳細な内容の報告は理事会で行っていない。

会員より、上限10名まで傍聴可能であるため、当番制などで多くの役員に傍聴し士会にて協議していただきたい、と意見があった。

(2) 2023年度予算案の報告

青木財務部担当理事より2023年度収支予算案の報告がなされた。

2023年度収支予算書（士会ニュース第50号P.40～44）について、公益目的事業比率は、経常費計16,093,311円（当期支出合計34,143,233円から予備費18,049,922円を除く）のうち、公益目的事業費が11,521,311円であることから公益目的事業比率71.59%となり要件を満たした。また、収支相償

は、公益目的事業における収入 9,076,800 円（年会費の 50%、事業収入全額、理学療法講習会協会補助金全額、四国ブロック援助金全額、日本理学療法士協会補助金の 50%）に対して支出が 11,521,311 円であり、これも要件を満たした。最後に、遊休財産は 9,386,648 円（予備費 18,049,922 円から 2023 年度会費前受金等 8,663,274 円を除く）であり、公益目的事業費が 11,521,311 円であることから、こちらも要件を満たした。

(3) 公益社団法人日本理学療法士協会第 52 回定時総会の報告

木口会長より令和 5 年 6 月 11 日に第 52 回定時総会が開催されたことが報告された。

第 1 号議案の定款改正案の承認を求める件に関しては、副会長の定数を 5 人以内に設けることが可決された。第 2 号議案の 2023・2024 年度役員を選任に関して、理事 23 名が可決された。会長には齋藤会長が可決された。役員報酬等規定改定案について、報酬額の増額は否決された。

また、2022 年秋の叙勲にて本会理事である小川克己前参議院議員が、旭日中綬章を受章されたことが報告された。

議長より、会場に対して質問がないか呼びかけたが、質問質疑はなく、第 52 回定時総会の報告を終了した。

12 その他

(1) 愛媛県リハビリテーション専門職協会からの報告

吉野愛媛県リハビリテーション専門職協会会長より、2023 年度事業報告並びに決算報告、2023 年度事業計画が報告なされた。

議長より、会場に対して質問がないか呼びかけたが、質問質疑はなかった。

(2) 愛媛県理学療法士連盟からの報告

定松愛媛県理学療法士連盟会長より、田中まさし議員の参議院議員当選報告、2022 年度の連盟活動について報告なされた。

議長より会場に対して質問がないか呼びかけたが、質問質疑はなかった。

13 議事録署名人の解任

議長は、2023 年度通常総会の全ての議事等を終了したので、議事録署名人を解任した。

14 議長の解任

議長は、議長の解任を宣言した。

15 2022 年度公益社団法人愛媛県理学療法士会賞、第 26 回愛媛県理学療法士会学術集会表彰式

2022 年度公益社団法人愛媛県理学療法士会賞の表彰が行われ、木口会長より 3 名の受賞者に対して賞状と記念品が授与された。続いて、第 27 回愛媛県理学療法士会学術集会表彰式が行われ、加地学会長より学会賞、奨励賞、新人賞各受賞者に対して賞状と記念品が授与された。

16 閉会

和田副会長より、公益社団法人愛媛県理学療法士会2023年度通常総会の閉会が宣言された。

この議事録が正確であることを証するために、議長並びに議事録署名人が下記に記名押印する。

2023年6月18日

公益社団法人愛媛県理学療法士会通常総会

議 長 木村 玄宏 印

議事録署名人 宮本 佳明 印

議事録署名人 佐伯 春香 印

2023 年度役員・部員のご紹介

「2023 年度役員」は以下のとおりです。よろしくお願いたします。

※各部へのお問い合わせは、下記表内各部の E-mail へお願いします。

会 長	木口 大輔	愛媛県立中央病院
副会長	和田 幸枝	南高井病院
副会長	吉野 一弘	あき整形外科リハビリテーションクリニック
副会長	土居 誠治	愛媛十全医療学院
監 事	山崎 祐司	今治第一病院
監 事	大塚 哲也	河原医療大学校
相談役	定松 修一	自宅

事務局	事務局長	土居 誠治	愛媛十全医療学院	※E-mail : jimukyoku@epta.jp
総務部	※E-mail : soumu@epta.jp (楠)			
担当理事	土居 誠治	愛媛十全医療学院	部 員	丹羽 明良 愛媛十全医療学院附属病院
部 長	楠 大吾	愛媛十全医療学院		玉井 亜実 愛媛十全医療学院附属病院
副部長	石川 拓実	愛媛十全医療学院		渡辺 明日香 愛媛十全医療学院附属病院
部員	山口 将史	愛媛十全医療学院附属病院		
財務部	※E-mail : e.aoki@matsuyama-shimin-hsp.or.jp (青木)			
担当理事	青木 英次	松山市民病院	部 長	曾我 孝 松山市民病院
会員支援部	※E-mail : zamami@rwf.ac.jp (座間味)			
担当理事	金山 浩基	四国中央医療福祉総合学院	部 員	渡邊 翔 四国中央医療福祉総合学院
部 長	座間味 知彦	四国中央医療福祉総合学院		三木 俊二 四国中央医療福祉総合学院
副部長	山本 勇輔	四国中央医療福祉総合学院		佐藤 麻衣 四国中央医療福祉総合学院

学術局	学術局長	尾坂 良太	愛媛十全医療学院附属病院	
学術部	※E-mail : gakujutsu@epta.jp (金並)			
担当理事	青木 卓也	愛媛県立中央病院	部 員	手嶋 麻美 デイフィット ASRE 和
部 長	金並 将志	松山赤十字病院		島原 範芳 道後温泉病院
副部長	村上 雅基	HITO 病院		上甲 雄太郎 道後温泉病院
副部長	中田 亮輔	松山市民病院		中野 正規 道後温泉病院
副部長	大森 貴允	松山リハビリテーション病院		森川 真也 放射線第一病院
副部長	高木 亮典	坪井整形外科		大野 拓哉 松山赤十字病院
部 員	石崎 崇天	愛媛県立今治病院		関谷 実里 松山赤十字病院
	清水 麻美	愛媛県立中央病院		足立 斉志 ケアプラスデイサービスセンター新居浜
	石川 拓実	愛媛十全医療学院		井村 優介 松山リハビリテーション病院
	渡辺 敦	愛媛十全医療学院附属病院		中森 友美 松山リハビリテーション病院
	山口 将史	愛媛十全医療学院附属病院		村上 博則 松山リハビリテーション病院

丹羽 明良	愛媛十全医療学院附属病院	土井 岬	松山リハビリテーション病院
玉井 亜実	愛媛十全医療学院附属病院	葉師神 友理	松山リハビリテーション病院
野村 京平	愛媛大学医学部附属病院	田中 奈穂美	松山リハビリテーション病院
真鍋 透	愛媛大学医学部附属病院	大久保 尚紀	松山リハビリテーション病院
向井 輝久	大洲記念病院	清水 皓貴	松山リハビリテーション病院
平井 昭成	喜多医師会病院	弘田 拓也	南高井病院
松本 慎平	愛媛リハビリ訪問看護ステーション		

教育部 ※E-mail : kyouiku2@epta.jp (百田)

担当理事	尾坂 良太	愛媛十全医療学院附属病院	部 員	高尾 結乃	伊予病院
部 長	百田 雅治	西条市民病院		山上 朋美	伊予病院
副部長	紀伊 美枝	大洲記念病院		小野 滉介	愛媛大学医学部附属病院
副部長	奥本 充	伊予病院		渡邊 五郎	河原医療大学校
副部長	徳岡 勇人	西条市民病院		内藤 紗季	愛媛十全医療学院附属病院
副部長	白石 恵資	愛媛十全医療学院附属病院		青木 健輔	愛媛十全医療学院附属病院
部 員	荒谷 英彦	老人保健施設 伊予ヶ丘		上田 透	愛媛十全医療学院附属病院
	河崎 由美子	伊予病院		安永 弘嗣	大洲記念病院
	田下 泰子	伊予病院		三木 美咲	西条市民病院
	高橋 保雅	伊予病院		井上 直哉	西条市民病院
	玉井 広子	伊予病院		村上 哲志	松山ベテル病院

職能局 職能局長 公原 央智

医療介護報酬部 ※E-mail : shinryouhousyuu@epta.jp (杉野)

担当理事	池内 貴美	済生会今治第二病院	部 員	山内 愛	済生会今治第二病院
部 長	杉野 哲也	瀬戸内海病院		高橋 智史	済生会今治第二病院
副部長	中山 亮	済生会今治第二病院		渡邊 真依	済生会今治第二病院
部 員	呉石 祐規	瀬戸内海病院			

地域包括ケア推進部 ※E-mail : tiikihoukatsu@epta.jp (松岡)

担当理事	松岡 栄二郎	あらいぶ訪問看護リハビリステーション	部 員	赤松 裕真	訪問看護ステーション くるみ
部 長	兵頭 賢	はなえみ訪問看護ステーション		河野 宏樹	デイサービスセンターりはらぼ
副部長	宮浦 修典	訪問看護ステーションMMC フレンド		菊川 裕基	(株)アクティブビジョン
副部長	片山 善樹	デイサービスセンターみかん 武号館		藤原 章人	愛媛リハビリ訪問看護ステーション
部 員	竹本 光裕	訪問看護ステーション くるみ		三好 麻希	北条病院
	高瀬 峰文	今治第一病院		岡本 純一	北条病院
	今岡 賢俊	今治第一病院		大森 智恵	自宅
	藤田 昌宏	福角病院		佐々木 英美	今治市役所 介護保険課
	倉橋 和人	松山ベテル病院		柚木 豊	放射線第一病院
	井上 瑞貴	愛媛県立今治病院		阿部 恒美	介護老人保健施設 あすなろ
	井上 真吾	西予市立西予市民病院		山岡 直人	介護老人保健施設 あすなろ

藤本 千尋	松山西病院	池田 進太郎	美須賀病院
三木 英稔	松山西病院	池田 義久	済生会今治第二病院
臼井 穰	介護老人保健施設 燧園	守口 慎吾	済生会今治第二病院
兵頭 峻史	吉野病院	仲森 真智子	済生会今治第二病院
谷口 博紀	志摩整形外科	越智 大樹	多機能型重症心身障がい児(者)施設ピッコロ
大原 生久	デイサービスセンター福家	福永 正和	HITO 病院

社会局	社会局長 和田 幸枝	南高井病院		
公益事業部 ※E-mail : kazuma20110608@gmail.com (岡田)				
担当理事	武智 政公	田窪リウマチ・整形外科	部 員	松本 雅史 三津整形外科
部 長	岡田 一馬	松山リハビリテーション病院		亀尾 江里 田窪リウマチ・整形外科
副部長	藤原 幹	伊予病院		山本 晴城 田窪リウマチ・整形外科
部 員	富岡 真光	松山リハビリテーション病院		重川 直輝 田窪リウマチ・整形外科
	中田 衛樹	松山リハビリテーション病院		天野 貴裕 愛媛県立中央病院
	橋 康史	松山リハビリテーション病院		石川 卓也 愛媛県立新居浜病院
	佐山 貴志	東松山在宅支援センター		上野 美智子 愛媛県立新居浜病院
	大澤 一仁	老人保健施設 高井の里		黒田 将平 サービス付き高齢者向け住宅 まごの手
	小室 博	おおぞら病院		柳生 江莉佳 西本整形外科
	河野 桃子	おおぞら病院		
スポーツ支援部 ※E-mail : narunaruta627@yahoo.co.jp (成田)				
担当理事	中尾 聡志	愛ほっと訪問看護ステーション 愛なん	部員	藤原 友理子 松山市民病院
部 長	成田 甲子朗	三津整形外科		藤岡 隼輔 松山市民病院
副部長	越智 仁紀	今治第一病院		末吉 藍弥悠 鎌田リウマチ・整形外科
野 球				
研修事業	冲 勇弥	三津整形外科		河合 裕章 白石病院
マラソン	上甲 大河	あき整形外科クリニック		宮脇 勇磨 加戸病院
サッカー	有友 竜也	ひろ整形外科		福原 政成 白滝療術院
障がい者	木俣 拓夢	済生会西条病院 いしづち苑		二宮 大和 整形外科尾形クリニック
ス ポー ツ				
部 員	阿部 大樹	ながやす整形外科クリニック		二宮 健太郎 十全総合病院
	山中 祥二	ながやす整形外科クリニック		本田 洸太郎 おひさま訪問看護ステーション
	坂本 大樹	ながやす整形外科クリニック		山野本 佳祐 おひさま訪問看護ステーション
	清水 富貴	ながやす整形外科クリニック		川又 誠也 特別養護老人ホームすずらん
	藤田 典道	愛媛県立中央病院		小池 高弘 松山まどんな病院
	二宮 麻実	広瀬病院		松田 聖一 あき整形外科クリニック
	橋本 龍吾	広瀬病院		濱田 綾 浦屋医院
	向井 玲子	三津整形外科		中村 孝治 宇和島徳洲会病院訪問看護ステーション
	亀尾 恭平	三津整形外科		中平 涼太 宇和島徳洲会病院
	戸田 淳平	愛媛大学医学部附属病院		横前 直樹 愛南町国保一本松病院

小野 滉介	愛媛大学医学部附属病院	増田 真士	住友別子病院
岩本 英毅	愛媛十全医療学院	国田 尚大	住友別子病院
渡部 里佳	愛媛十全医療学院	星加 純志	住友別子病院
宇治村 信明	松山リハビリテーション病院	森 政基	住友別子病院
難波江 隆	もりもと在宅クリニック	二反田 健太郎	長井医院整形外科・内科
高木 優一	もりもと在宅クリニック	林 茂広	伊予訪問看護ステーション
沖田 将斗	松山市民病院	木村 瑠偉	愛ほっと訪問看護ステーション 愛なん
森山 翔太	松山市民病院		
広報部 ※E-mail : kouhou@epta.jp (安部)			
担当理事	和田 幸枝	南高井病院	部 員 藤巻 健悟 南高井病院
部 長	安部 敏博	南高井病院	

地域局	地域局長	吉野 一弘	あき整形外科クリニック
※E-mail : chiikikyoku@epta.jp (吉野)			
東予担当理事	加地 和正	ながやす整形外科クリニック	
中予担当理事	立花 紀子	おおぞら病院	
南予担当理事	茶家 康吉	市立大洲病院	
支部長			
四国中央支部	横内 俊弘	石川クリニック	shikokutyuousibu@googlegroups.com
新居浜支部	大久保 勝朗	愛媛労災病院	niihamasibu@googlegroups.com
西条支部	神野 芳裕	村上記念病院	saijosibu@googlegroups.com
今治支部	佐々木 裕二	愛媛県立今治病院	imabarisibu@googlegroups.com
愛媛中央支部	河崎 由美子	伊予病院	ehimetyuousibu@googlegroups.com
松山東支部	島原 範芳	道後温泉病院	matsuyamahigashisibu@googlegroups.com
松山西支部	光宗 雅人	済生会松山病院	matsuyamanishisibu@googlegroups.com
松山南支部	友田 芳文	松山リハビリテーション病院	matsuyamaminamisibu@googlegroups.com
松山北支部	三好 麻希	北条病院	matsuyamakitasibu@googlegroups.com
南予北支部	土手 健司	三瓶病院	nanyokitasibu@googlegroups.com
南予南支部	西本 和弘	自宅	nanyominamisibu@googlegroups.com
副支部長			
四国中央支部	山本 勇輔	四国中央医療福祉総合学院	
新居浜支部	二宮 健太郎	十全総合病院	
	森 政基	住友別子病院	
西条支部	青野 寛	訪問看護ステーションおれんじ	
	徳永 雅之	西条中央病院	
今治支部	佐々木 雄太	光生病院	
	高橋 智史	済生会今治第二病院	

愛媛中央支部	田下 泰子	伊予病院
松山東支部	二反田 健太郎	長井医院 整形外科・内科
松山西支部	近藤 源	済生会松山病院
松山南支部	大森 貴充	松山リハビリテーション病院
松山北支部	山野本 佳祐	おひさま訪問看護ステーション
	一色 知子	福角病院

委員会 ※お問い合わせは 事務局 E-mail : jimukyoku@epta.jp へお願いします			
表彰委員会			
委員長	和田 幸枝	南高井病院	委員 安藤 誠崇 南高井病院
委員	山崎 祐司	今治第一病院	
選挙管理委員会			
委員長	宮木 鉄平	愛媛大学医学部附属病院	委員 渡部 幸喜 いまいりウマチ・リハビリテーション
委員	梅木 建弥	愛媛大学医学部附属病院	委員 一色 房幸 浦屋病院
災害対策検討委員会			
委員長	伊東 孝洋	松山赤十字病院	委員 伊藤 潤一 伊予訪問看護ステーション

有酸素トレーニング機器【スライディングアップボード】

Sliding Up Board

急性期から在宅まで自重による低負担の
下肢伸び上がり運動器具

スライディングアップボード
GH-915



※本製品は、医療法人北辰会 西条市民病院の首藤 貴 先生のご指導のもとに開発した製品です。



オージーウェルネスが配信する介護施設・医療従事者のためのサポートサイト

一般向け
OGスマイル

介護施設向け
OG介護プラス

医療従事者向け
OGメディック



物理療法機器・リハビリ機器・介護用入浴機器

オージーウェルネス 検索

OG Wellness オージー・技研株式会社
Wellness and Beyond

【岡山本社】〒703-8261 岡山県岡山市中区海吉1835-7 Fax.086-274-9072

【東京本社】〒100-6004 東京都千代田区篠が関3-2-5 篠が関ビルディング4階 Fax.03-3519-5020

【平日受付コールセンター】

☎ **0120-01-7181**

【休日受付コールセンター】※土・日・祝・年末年始 専用

☎ **0120-33-7181**

※コールセンター受付時間 9:00-17:00 (平日・休日 共通)

ad-21-2204-0

広告募集!

公益社団法人愛媛県理学療法士会会員向け機関誌(愛媛県理学療法士会ニュースepta、士会だより)へ、掲載します。

1枠(A4 1/8) 5,000円

2枠(A4 1/4) 10,000円

4枠(A4 1/2) 15,000円

8枠(A4 1) 30,000円

※詳細はHP内にある求人広告の利用規約・申込要項にてご確認の上、事務局へご連絡ください。

各種登録情報 変更のお願い

- 所属施設・住所変更・施設名称変更等ございましたらマイページ上からの変更をお願いいたします。
- 下記は県士会HPの会員専用ページ閲覧に必要です。大切に保管してください。

ユーザー名:epta パスワード:epta

愛媛県理学療法士会

グループライン・メールアドレス登録について

愛媛県理学療法士会・連盟 LINE 登録

<https://lin.ee/3VGa7Lu>



スターセブン メール登録

ptehime@star7.jp



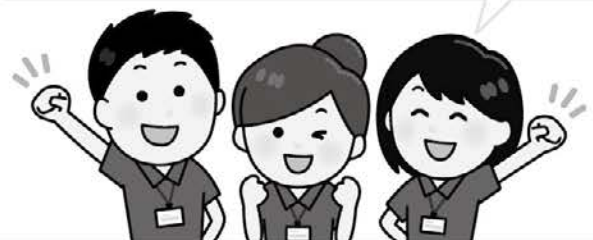
上記 QR コードから LINE・メール登録よろしくお願いたします。

新規入会者、募集中

愛媛県理学療法士会ではコロナ禍においても、WEBを活用した研修会、学術集会を実施しております。ぜひとも入会のご案内をしていただきますようお願いいたします。

日本理学療法士協会(愛媛県理学療法士会)新規入会者が減少傾向にあります。未入会者がいらっしゃいましたら、ぜひ入会を勧めていただきますようお願い申し上げます。

コロナ禍で対面研修が減少している中での生涯学習の継続は理学療法士として非常に重要と考えます。ぜひとも入会のご案内をして頂きますようお願いいたします。



P T EHIME

We contribute to
medical and socialwelfare
by Physical Therapy

事務局

愛媛十全医療学院 理学療法学科内

〒791-0385

愛媛県東温市南方 561 番地

TEL : 089-933-7282

FAX : 089-903-1263

E-mail : jimukyoku@epta.jp